

令和6年度(2024) 坂東市立内野山小学校 グランドデザイン

本県の教育目標・いばらき教育プラン・生徒指導提要
 学校教育指導方針・ばんどう未来ビジョン
 坂東市学校教育の基本方針・坂東市5つの約束

【目指す学校像】

今日が楽しく 明日が楽しい学校

【目指す教師の姿】

子どもの心に寄り添い、子供の願いの
 実現に全力で当たろうとする教師

【内野山小 いじめ0宣言】

- 1 体や心をきずつけることはしません。
- 2 「だいじょうぶ」と声をかけます。
- 3 「知らんぶり」を見たら、声をかけます。
- 4 だれの話でも、やさしい心で聴きます。
- 5 友達をきずつけてしまったら、「ごめんなさい」とあやまります。

【教育目標】自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

【組織目標】 笑顔と言葉を交わし合い、一人一人に自信と活力を育む学校づくり

【合言葉】 「みんなが分かる」「みんなが楽しい」「みんなが伸びる」

【経営方針】 「内野山チャレンジ！」～小さな学校の大きな挑戦～

- 1 授業チャレンジ：子ども主体の学び合いを基盤に、全ての子が「分かる」「できる」を味わう授業を創る。
- 2 学級チャレンジ：ピアサポートを基盤として支え合い、思い切ってチャレンジし、高め合う学級を創る。
- 3 地域学校チャレンジ：小規模校の価値を共有し、地域の未来を担う子供の育成を目指す。

【学校運営協議会】

- 「子どもは地域の宝」～地域ぐるみで子どもを育てる～
- 学校経営・学校運営、教育活動への意見
 - 自己評価・学校関係者評価
 - 保護者・地域の特性・実態・願い

承認・評価
 改善・共有

【内野山の子ども 10のやくそく】

- 1 登下校は自分の目で安全を確認しよう。
- 2 友達や先生、地域の人に進んであいさつをしよう。
- 3 名前を呼ばれたら、「はい」と返事をしよう。
- 4 誰にでも「ありがとう」の感謝の言葉を言おう。
- 5 友達のことは「～さん」と呼ぼう。
- 6 清掃はだまってやろう。
- 7 休み時間はみんなで仲よく遊ぼう。
- 8 友達のよいところをたくさん見つけて紹介しよう。
- 9 授業中は一人一人の考えを大切にしよう。
- 10 困っている友達がいたら、進んで声をかけよう。



目指す児童の姿2 伝え合う子ども

目指す児童の姿1 学び合い、高め合う子ども

目指す児童の姿3 チャレンジする子ども

| | | |
|---|---|--|
| 知識 技能 どの子ども安心して生活できる温かい居場所づくり ・「あいさつ・返事・ありがとう」の定着を図る取組の充実 ・坂東市5つの約束「内野山小10の約束」の徹底 ・授業におけるマナーと規律、「傾聴」の定着 | 全ての子どもが「できる」「分かる」を味わう学びづくり ・「子ども主体の学び」の実現を図る「内小スタイル」の工夫・改善と学習リーダーの育成(「問い」と「振り返り」、「うのトーク」) ・一人一台端末の効果的な活用(適切な情報活用・学びの蓄積と定着) ・「全教員が全児童の担任」意識をもった指導体制の構築と実践 | 目標を立てて最後まで頑張る健康・体力づくり ・競い合い、目標達成の喜びを共に味わう体育の時間の工夫・改善(ICT活用による可視化・グループ交流活動の工夫) ・「しっかり睡眠+毎日、朝ごはん」の習慣化による健康管理能力の育成 ・「なかよしオリンピック」等、粘り強く体力向上を図る活動の充実 |
| 思考力 判断力 表現力 認め合い、よさを発揮し合える絆づくり ・「内野山いじめ0宣言」の日常化、人権感覚の醸成 ・児童主体のピアサポート学習会、「ピアサポートの木プロジェクト」の推進 ・「黙働清掃・親切清掃・見つけ清掃」の推進 | 考えを伝え合い、学びを深める交流の場の充実 ・オンライン交流プロジェクトの推進による発信力・プレゼンテーション能力の育成(県外小規模校・市内小規模校・海外小学校) ・遠隔合同授業等、学校横断型の探求的な学びの推進 ・追究心を引き出す授業の導入時の一手間一工夫 | 「命を守る」危険予測・回避能力の育成 ・「自ら安全を確認」を徹底する登下校指導 ・自然災害(地震、河川氾濫等)、感染症等から身を守るためのスキルの習得、地域防災との連携 ・命の大切さや性に関する学び、情報モラルについて学ぶ機会の充実 |
| 学びに 向かう力 人間性等 「ふるさと内野山」への愛着・共生の心の醸成 ・「ふるさと坂東」「ふるさと内野山」への深い理解を促す校外学習、作物の栽培学習等の充実 ・児童主体の三世代交流の集い、天神社相撲大会の開催 ・児童発信のボランティア活動の活性化、家庭での「お手伝い」の奨励 | どの子どもにも「居場所」のある授業づくり ・「聴き合い」「学び合い」を基盤とした授業づくり ・交流の場で生きて働く言葉を獲得する言語活動の充実 ・学習形態(異学年構成を生かしたペア・グループ)と、学習環境(特別支援教育の視点)の工夫 | 工夫して遊び・運動し、体力向上を図る児童の育成 ・チャレンジしたくなる運動の場づくりや手作り遊具等の工夫・開発 ・児童主体の縦割り班遊びやクラス遊びの時間の計画・運営 ・児童の意欲や関心を引き出す学習カードや啓発ボードの活用 |

【主な数値目標】

100%達成を目指す

- 学校が楽しい
- みんなで何かをするのは楽しい
- 授業に主体的に取り組んでいる
- 授業がよくわかる

80%達成を目指す

- 考えを伝え合うことができる。
- どの友達の話も大切に聴いている。
- あいさつや返事、ありがとうの言葉を言うことができる。
- 毎日の生活の中で、ピアサポートを実践しようとしている。
- 目標を達成するために、最後まで頑張ることができる
- 命は自分で守ることを考えて安全に生活している。

【猿島中学校区「魅力ある学校づくり」】

「授業の中での人づくり」「居場所づくり」「絆づくり」

- どの子ども居場所のもてる授業づくり
- ICT等を活用した個別最適の学び
- 規律(「学び」の約束・マナーのある学び)

【開かれた学校としての家庭・地域との連携】

- ・PTA組織 ・内野山分館 ・氏子総代
- ・子ども会育成会 ・シニアクラブ ・母の会
- ・内野山地区長会 ・ぶんぶんクラブ
- ・厚生保護女性会 ・猿島中学校区小中学校
- ・幼稚園 ・認定こども園 ・学校医 等

【「初期対応」の徹底を図る関係機関等との連携】

- ・市教育委員会 ・坂東市こども発達センター「つくし」「にじ」
- ・市教育支援センター「ひばり」「ちゃのはな」 ・各医療機関
- ・市訪問型家庭教育支援員・境特別支援学校 ・筑西児童相談所
- ・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー
- ・スクールサポーター ・境警察署沓掛駐在所 等

信頼され、教職員にとってやりがいのある学校づくり・人財育成

- 複式学級担任としての授業力・学級経営力の向上
- 働き方改革の推進～教育活動の質の向上と重点化
- どの教員もリーダーとなり、よさと経験を生かす場の創出
- バクトルの合った一体感のある職員環境づくり
- 服務規律の確保～勤務心得、「8つの約束」の順守